

生涯研修講座

ファイバーポストで講習

保険導入で活用法を解説



1月から保険導入されたファイバーポストの講習会=1月17日、M&Dホール

1月からGC社製のファイバーポストが保険導入されたことを受け、臨床・学術部は大阪大学教授の矢谷博文氏を講師に1月17日、生涯研修講座「ファイバーポストを用

いた接着台築造法」を開いた。最近、歯質の保存、歯根の破折防止、審美性向上のためレジンコアが広く使われるようになってきた。メタルコアに取って代わる優れた材料である。1月からはファイバ

ーポストが既製の金属ポストに代わって臨床に用いることが出来るようになった。象牙質と弾性係数が近似していることから、高い歯根破折抵抗が期待できる。

しかしそれらの性質を良く知って使うことが重要である。根管内象牙質の象牙質と比較すると著しく高いためレジンとの接着強さが劣る。細く長い根管は乾燥不足や光重合による光が届きにくい。重合時の収縮によることもコア脱離の原因となる。その事を踏まえ、以下のステップを確実にこなすことが大切である。

①ポストスペース形成 (歯根長の1/2、歯質の厚みは1.0mmは必要、フェルルは2mmを確

保する) ②リン酸エッチング処理30秒(スプレー層除去、表層に脱灰コーラーゲン層) ③次亜塩素酸処理60秒(脱灰コーラゲンの溶解、除去) ④ス

ルフィン酸ナトリウム処理15秒(残留次亜塩素酸Naによる重合阻害の回避) ⑤エタノール処理10秒(完全な乾燥) ⑥ボンディング材塗布+光照射

第10回会 理事

診療報酬改定対策を協議

新点数説明会など決める

協会は1月9日、第10回理事を開き、診療報酬改定対策、社会保障制度拡充を求める医療運動、安法法制廃止を求める平和運動、保団連大会準備などを協議し、当面の運動対策を決めた。

理事會冒頭、小澤力理事長が年頭のあいさつで、昨年の定期総会で達成した4000人会員を専門部や地区活動、技工

問題、平和と民主主義を守る運動など多彩な協会活動で支えてきたとし、「今年も診療報酬改定の年。会員に満足してもらえ説明会にし、これを機会に会員を増やしたい」と述べた。運動課題については「安全保障関連法、TPP大筋合意、

診療報酬改定対策では、1月中旬の中医協への諮問を受けて会員にパブリックコメントの提出を呼びかけること、2月14日の会員学習会で改定の概要を学ぶこと、3月21日に新点数中央説明会を開くことなどを確認した。

昨年、政府は社会保障制度改定で「受診時定額負担」の導入▽高額療養費制度の限度額の引き上げ▽入院時の居住代の徴収▽後期高齢者の窓口負担の割合▽市販類似薬の保険外しや保険償還率の引き下げ、給付制限などを提起している。

これらは7月の参議院選挙の結果で制度設計が左右されるので、新たな患者負担増ストップ署名を3月から参院選挙前まで取り組むことにした。平和と民主主義をめぐっては、「戦争させない

お知らせ 会費の減免制度

70歳以上は減額 75歳以上は免除 休保・年金の掛け金払い込み中は適用外

15年以上継続して協会の会員で、①満70歳以上の開業医会員の方は会費を減額(5500円→3000円)、②満75歳以上の方は会費が免除される制度があります。

ただし、協会の休業保障制度または保険医年金制度のいずれかの掛け金払い込み中は対象外となります。会費免除となった先生方には『大阪歯科保険医新聞』のみを届け、協会発行書籍は配付していません。本制度の申請は、協会組織部まで。 ※対象者には案内を1月に送付済みです。

戦争法の廃止へ署名

5月3日の憲法記念日に向けて2000万人分を目標に全国で進められている戦争法(安保関連法)廃止を求める署名活動を広げるため、協会は1月9日の理事会で同署名に取り組むことを決めた。署名用紙は今号に同封し、全会員へ届ける。理事で、大阪反核平和医療人の会の中村新太郎世話人が協力を呼びかけている。



反核医師近畿懇談会が1月10、11日に開かれ、関西学院大学教授の富田宏治氏の講演を聞く機会

があった。政治学が専門の同氏は、近年の国政選挙の投票結果を分析した。民主党が政権交代時に獲得した3000万票は900万票にまで落ち込み、安倍政権も直近の衆院選で1800万票程度しか取れていないことを紹介した。

2000万人分の意味を受け止め行動しよう

中村氏(大阪反核平和医療人の会世話人)が呼びかけ

「自民党はもはや過去の支持を取り戻せない政権になっている。保守層を含めた約2000万の浮動票の動きが今後の鍵を握る」と強調。2000万人への対話のツールとして、戦争法廃止署名の取り組みが重要である、と訴えた。

理事会では戦争への道を許さないために、この署名に取り組むことを決めた。富田氏の話聞き、「2000万」という数字の意味を知り、正面から受け止めることができた。

途方もない目標のように思うが、1950年代のビキニ水爆実験で被曝した第五福竜丸事件を見つめ直してほしい。当時、「マグロは安全か。家族の食卓を守れ」と東京・杉並区の母親らが始めた原水爆禁止署名は国内で3000万人分を集め、大きなうねりとなって国際政治を動かした。

「もう風では動かない。2000万人に對話で呼びかけよう」。富田氏の言葉だ。戦争法を廃止へ追い込み、一人ひとりの命を大切にす平和な日本を守るために、多くの会員の協力を願います。

戦争法の廃止を求める統一署名. Includes a table for the signature sheet and a list of participating organizations.

「戦争法を廃止しよう」というのが、1950年代のビキニ水爆実験で被曝した第五福竜丸事件を見つめ直してほしい。当時、「マグロは安全か。家族の食卓を守れ」と東京・杉並区の母親らが始めた原水爆禁止署名は国内で3000万人分を集め、大きなうねりとなって国際政治を動かした。



歯科医療の提供体制の改善を訴えた府との懇談2015年12月16日、大阪市内

「保険でよい歯科医療を大阪連絡会」は、府健康福祉部と昨年12月16日に懇談を行い、子どもの医療費助成制度や歯科医療の提供体制の充実などについて、要望した。

府、子育て支援は市町村、と役割を明確化した。ただ子育て支援について府は何もしないと言わなければならない。新子育て交付金を創設したと説明した。しかし、交付金の継続性について指摘したところ、「(継続に)努力する」との回答に留まった。

訂正 1月25日付2面「ファイバーポストの保険適用」にかかる記事、レセプトの記載例を以下の通り訂正します。

誤 ファイバーポスト 1本 230×1
正 1 ファイバーポスト 1本 230×1

技工士減への対策乏しく

大阪府 保険でよい歯科 大阪連絡会 との懇談で明らかに

「保険でよい歯科医療を大阪連絡会」は、府健康福祉部と昨年12月16日に懇談を行い、子どもの医療費助成制度や歯科医療の提供体制の充実などについて、要望した。

協会から小澤力理事長、平尾清司氏が、構成団体から戸井逸美(大阪民医連)、松井幹治(大阪年金者組合)両代表世話人、西川勝美(歯科技工士、事務局長)が参加した。

子ども医療費助成の拡充で大阪府は「市町村との話し合いでセーフティーネットは大阪府、子育て支援は市町村、と役割を明確化した。ただ子育て支援について府は何もしないと言わなければならない。新子育て交付金を創設したと説明した。しかし、交付金の継続性について指摘したところ、「(継続に)努力する」との回答に留まった。

国民健康保険の広域化について「国のガイドラインが出ていないため、何も決まっていな」としながらも保険料については、「統一しても、しなくても、激変は起こる」との見解を示した。歯科技工士の減少に対

し、医療確保基金の活用による奨学金の創設を提案したところ、「医療確保基金を活用して歯科技工士会を通じたCAD/CAMの研修事業を実施している」と話した。しかし、歯科技工士の会

員以外への研修の周知徹底や技工士減少に十分対応出来ているかの問いには、「分からない」と話した。